



## 府中基地内で入隊予定者説明会を実施



自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 近藤 1 陸尉）は2月25日、航空自衛隊府中基地内において入隊予定者説明会を実施した。

本説明会は、一般曹候補生、自衛官候補生の入隊予定者及びその保護者を対象に、入隊までの準備事項や注意事項、入隊後の訓練の概要説明等を実施することにより入隊予定者の疑問、不安を解消しようというもので、当日は、総勢21名の入隊予定者及び保護者が参加した。

当初、府中分駐所長による全般説明に始まり、その後、陸・海・空採用種目ごとの部屋に分かれて、陸・海・空各広報官によりそれぞれの特性に合わせた説明が実施された。終始和やかな雰囲気で行われ、質疑応答では銀行口座や団体保険に関する内容及びさまざまな質問が飛び交い、説明会を終えた参加者は、入隊に対する不安、疑問を解消できた様子だった。参加者の1人は、「入隊するのが楽しみです。どの職種にするか迷っています」と笑顔で話していた。

府中分駐所では、今後も各自治体、部隊等と連携しつつ、地域に密着した募集・広報活動を実施して、防衛省・自衛隊に対する理解と興味を獲得して将来の募集活動に繋げていくとしている。

## 帝京平成大学横須賀研修



自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 井上 3 陸佐（当時））は3月8日、帝京平成大学学生及び同校教授計18名による横須賀基地研修を支援した。

当日は、横須賀基地に到着後、横須賀地方総監からの「ぜひ海上自衛隊を知って職業選択の一つとしてください」との歓迎の挨拶・激励と記念撮影を終えた後、護衛艦「むらさめ」に乗艦し各種搭載装備や艦橋・食堂・医務室などの概要について説明を受けた。引き続きタグボート（曳船）に乗って、横須賀基地の湾内クルージングを体験した後、基地売店の買い物等を楽しんだ。

学生の多くは、自衛隊施設に立ち入ることが初めてで、当初は緊張した面持ちであったが、同行する広報官や基地広報と話をし、徐々に笑顔で談笑する姿も見られた。

学生からは「今日の基地研修により、基地内で勤務している多くの自衛官の姿を見て、これまでの自衛隊に対するイメージが大きく変わりました。就活の選択肢として認識できた」、「職場でみんなが笑顔でいたのが印象的でした。また女性自衛官が思いのほが多かったことに驚きました」という声や、父親が現在潜水艦の乗員であるという学生からは、「父がどのような職場で勤務しているのか、少しわかったような気がします」といった声が聞かれた。

豊島出張所は、今後も各大学・高校・専門学校の部隊・基地研修を促進し、学生や職員の皆様に正しい自衛隊の姿を伝えることに全力尽くし、さらなる募集・広報に取り組んでいくとしている。

## インターネットで募った参加者が百里基地を見学



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は3月14日、航空自衛隊百里基地においてインターネットで募った募集対象者20名に対し、基地見学を実施した。

当日は、天候にも恵まれ快晴の中、まず百里基地の概要説明を受け、資料館及び野外に展示している航空機、管制塔で実際に管制官が勤務している様子を見学した後、隊員食堂において体験喫食を実施した。午後からは格納庫において第7航空団飛行群のF-2戦闘機及び百里救難隊の救難ヘリコプターを前に、それぞれの部隊の概要や機体の特徴などの説明を受けた。見学の最中には、タイミングよく戦闘機が帰還し、着陸の様子や戦闘機のエンジン音の迫力に参加者は興奮した様子を見せるとともに、機体や救難員の装備等について質問が飛び交うなど、関心の高さがうかがえた。

参加者からは、「自衛隊の仕事内容を一部でも具体的に知ることが出来て良かった」、「隊員の方が実際に働く姿がとても格好良かった」、「貴重な体験ができた」といった声が聞かれ好評であった。

東京地本では、今後も基地や駐屯地と連携して自衛隊の魅力伝える募集・広報活動を実施し、自衛官募集業務に繋げていくとしている。